



PICKUP CONTENTS ●1P ニッポン再発見 ●2P トピックス…広域緊急援助隊合同訓練／多賀公益会館 1周年記念祭／フィリアホール彦根文化講座&内覧会 ●3P 春 お花見／手元供養／淡海の老舗 ●4P アイリス広場／フラワーガーデンアイリス／愛読者プレゼント



## ニッポン再発見⑰

## 井伊直虎はりボンの騎士か!? II

永禄8年(1565)、後を継ぐ男子が幼い虎松(のちの直政)のみとなった井伊家存亡の危機に南溪和尚は、「出家していた次郎法師にそのまま井伊家の家督を継がせ、虎松が成長するまでの「中継ぎ」にする」という妙案を出した。次郎法師は直虎と名を変え、虎松が家督を継ぐまで井伊家の当主としての役目を果たすことになる……。ここまでが、前回の話であった。NHK大河ドラマ「おんな城主 直虎」もこの辺りまで進んでいることだろう。

さて今回は、親子二代にわたり井伊家の主を今川に讒言し、井伊家衰退の発端となった小野親子について話しておきたい。りボンの騎士では、シルバーランドの王位を狙うジュラルミン大公と息子プラスチックということになる。

小野は、遣隋使の小野妹子・能書家の小野道風・美貌の歌人小野小町らを輩出した文化レベルの高い一族である。

井伊家は、井伊直平(直虎の曾祖父)の代に小野兵庫助という人物を家老として迎え、小野家は、今川氏と井伊家の仲介を務めた。上洛を果たそうとする今川氏にとって京文化に精通した小野家は都合が良かったのである。直平自身もそれを利用し、今川の機嫌をとるつもりだったのかもしれない。

井伊直盛(直虎の父)の代になると、小野和泉守が井伊家家老を務めた。小野は、今川義元の意志を伝えるために駿府と井伊谷を行き来するようになる。しかし井伊一族ではない小野家は井伊家に仕える家臣たちからは冷遇され、亀之丞

義は駿府に呼び出され、謀反について問われたのちに殺害されることになる。その直後、義元から「亀之丞を殺すように」との命が下ったのだ。

小野和泉守の息子が小野但馬守である。直親と名乗った亀之丞はやはり小野一族である小野但馬守と対立し、但馬守は今川氏真に讒言し、直親も殺されてしまうのだ。直虎を領主から引きずり下ろしたのも但馬守だった。

ジュラルミン大公の息子プラスチックは心を入れ替えサファイアに王位を譲りその味方となるのだが、井伊直虎にとって許嫁から引き離されるのも、許嫁の命を奪ったのも、自らが野に下ったのも小野親子によるものである。

ところが…、どうやら小野一族は井伊家にとって獅子身中の虫というわけではなさそうである。大河ドラマにおいても、亀と鶴、そしておとわと呼び合う3人の関係を見ても明らかだろう。

過日、直虎はりボンの騎士であると話していると「いや、風の谷のナウシカ」だという友人がいた。実は、『女(おなご)にこそあれ 次郎法師』の著者梓澤要氏も「風の谷のナウシカ」の話をされたことがあるという。「井伊谷の直虎」というわけだ。

いずれにせよ、人気アニメの主人公や物語の背景に似ているということは、直虎の人生がそれだけドラマチックであり、愛に満ちていたということなのである。今後の大河ドラマの展開が楽しみである。

雲行



▶井伊谷城址

(のちの直親)の父直満は反小野派の重鎮だった。これが和泉守に危機感を与え、義元に直満が敵と内通し謀反を起こそうとしたとの讒言となった。和泉守は義元に直満と直義兄弟が武田信玄と結んで謀反を起こす兆しがあると告げ口したのである。これによって、直満と直

TOPIC  
1

## 「近畿管区広域緊急援助隊合同訓練」に参加しました。

平成28年11月15日(火) 滋賀県蒲生郡日野町の滋賀県警察本部、機動警察隊の施設で行われた「平成28年度近畿管区広域緊急援助隊合同訓練」に滋賀県葬祭事業協同組合の理事長でもある当社代表とともに、初めて参加いたしました。

迅速かつ的確な災害警備活動を行うため、県東部の断層帯によるマグニチュード7.6の内陸型地震が発生したとの想定で、近畿6府県警の機動隊員、医療関係者、ボランティア支援された経験者など約570人が参加。

屋外の訓練会場では、倒壊建物や転落車両、

孤立集落から負傷者を救助する訓練や実際にヘリコプターを飛ばしての救助作業、小型無人機「ドローン」での探索など、様々な現場を想定した訓練が行われました。

屋内(体育館内)では、ご遺体が搬送されることからご遺族の対応まで、遺体受付、待機場所、検案場所、遺体処置場所、安置場所、ご遺族待合場所などが設けられての訓練に当社も参加。ご遺族との対応では、実際の現場さながらの張り詰めた雰囲気の中、感情のこもったご遺族役の演技に、緊張が走る訓練となりました。

「棺セット」「簡易祭壇」「寝台車」等、ご遺体を収容させていただく関係の備品を提供し、ご遺体との関わり方やご納棺時の注意事項等を確認しました。

作業の一連の流れのなかでは、気付くところもたくさんあり、実際に大規模な災害が起こった時に、こういった訓練をしているのとしていないのでは大きく違うということを感じました。

災害が起こらないことが一番ですが、実際に起こった時に、葬祭業者として何ができるのかを考えさせられた一日でした。

(葬祭部：川口尚正)



▶ 近畿2府4県での初めての大規模合同訓練



▶ ご遺体安置



▶ ご遺族への対応

TOPIC  
2

## 多賀公益会館1周年記念感謝祭開催しました。

2月19日(日)多賀公益会館

昨年2月に犬上郡多賀町多賀にオープンいたしました「多賀公益会館」の1周年を記念して感謝祭を開催いたしました。

特別講演として、NHK「プロフェッショナル-仕事の流儀-」や金スマで注目を集める羽田空港のカーズマ清掃員・新津春子さんを迎え「ラクラクお掃除術!トークセッション」を行いました。

“世界で最も清潔な空港”に選ばれ続ける羽田空港、唯一の環境マイスター新津さん。掃除はやさしさ! 使う人(家族)や物への思いやり

が大切。毎日、チョットついで掃除をするだけで皆の幸せに繋がります!「今日も頑張ろう」と元気が出ます! 何より、掃除が出来るって元気な証拠です! タオル1本で出来る簡単お掃除術のアドバイスに会場に詰めかけてくださったお客様も納得!

また、清掃に対する思いを書籍として出されており、講演後には著書の紹介とサイン会にもごわいました。

人形法要祭や手元供養の紹介、数珠の販売、屋外の食品ブースではおそばやトン汁で温

まっていたり、フラワーガーデンアイリスの恒例の花ひろば市も特価販売や切り花バイキングなどで大賑わい!

皆さまには大変ご満足いただいたイベントとなり、1周年を迎えられた感謝の気持ちをお伝えできたのではないかと感じております。

わたくしども公益社は、地域の皆さまとのつながりを大切に、誠実に、丁寧に、どのような要望でも相談に応じられるきめ細やかなサービス体制で安心を提供してまいります。

(葬祭部：山本 学)



▶ 羽田空港の清掃姿で登場して下さった新津さん



▶ 人形法要祭



▶ 花ひろば市

TOPIC  
3

## フィリアホール彦根「文化講座&内覧会」開催しました。2月26日(日)フィリアホール彦根

シリーズ講座「健康体操教室」を開催。みなさん元気に参加いただきました。次回は4月23日(日)です(同封のご案内をご覧ください)。

## お花見

春になりますと「桜前線」が北上します。桜前線とは、日本

各地の桜(主にソメイヨシノ)の開花予想日を結んだ線のことです。この言葉は1967年(昭和24年)にマスメディアによって作られた造語と言われています。

桜は平均気温が10度になると咲き始め、3月の末から4月の下旬まで、日本中、南から北までにぎやかな花見風景が繰り広げられます。桜の開花基準はそれぞれの地域によって決められており、東京では「靖国神社」、大阪では「大阪城西の丸庭園」、滋賀県では「彦根地方気象台構内」のソメイヨシノの標本木で決められます。

筆者の故郷、奈良県吉野町もまた全国に知られた桜の国の桜の名所なのです。「霞のかなたは知らねども見渡す限りは桜なりけり」と歌われ、下千本・中千本・上千本・奥千本と順番に咲きますので、ほぼ1ヶ月間「山桜」がみれます。

日本人独特の「花見」はいつごろから始まったのでしょうか……。桜は早くから山に自生し、日本古来のものとしていつの時代も愛されていました。ただ美しい風景を愛でるだけでなく、信仰上の行事として農耕生活に根ざした祭りとしても行われ、「山の神」を「田の神」として迎える花見は神様を饗応(きょうおう)するためのものでした。共同体の宗教行事としての意味が大きかったのです。

花を觀賞するために山野に出て、詩を歌い、音楽を奏で、桜の下で蹴鞠(けまり)に興じる貴人

たちの遊びは、平安時代の初めころに始まりました。その後、花見が一般的なものになったのは江戸時代になります。そのころから計画的に都市の景観の中に桜を植えて、ながめるようになったのです。

現在でもお花見で有名な、上野寛永寺は將軍家光が奈良県吉野から桜樹を移植し、計画的に造った桜の名所です。江戸時代も元禄の頃になりますと、庶民文化が花開き、花見が華やかにくりひろげられるようになったのです。また情緒ある花見として人気の高い夜桜見物はすでに江戸時代に始まっていました。庶民の花見は、花を肴に飲むことで気軽に行われてきました。その伝統は今の時代にも生きています。気のおけない仲間と花見バーベキューやカラオケの趣向も取り入れて、季節を楽しむにはぴったりの行事です。

職場単位の花見は「仕事」と「遊び」を区別しようという風潮を反映してか、衰退傾向にあるようですが、家庭や友人同士の花見はまだ健在です。春の爽やかな外気に触れ、花を愛で、食べて飲んで、喋って歌って、それぞれにふさわしい花見がくりひろげられています。花見は花の美しさをしみじみ感じるこの出来る、大人が主役の数少ない行事として、また人と人との楽しい交流が演出できる行事として、高齢化のすすむ中で、ますます大切にされていくことと思います。(猫田文吾)



協力 マルマタ  
愛知郡愛荘町愛知川186・tel.0749-42-3018

とところで、辰巳家では代々当主が「又四郎」を襲名する。マルマタの「マタ」は又四郎の「又」。漬物事業を始めたのは、創業から五代目に当たる八代目辰巳又四郎の頃だ。この又四郎の名前を戴いた「きゅうりの又四郎漬」は今でもつくり続けられている。時代とともに襲名することはなくなったが、又四郎の名は商品としてこれからも語り継がれていく。

中でもマルマタの看板商品は「赤かぶら漬」だ。最近では甘酢漬けにすることが多いが、マルマタの「赤かぶら漬」は昔ながらの糠漬けで、湖東平野で栽培された万木かぶを用いて漬けられる。懐かしい味が忘れられないと遠くから買い求めに来るお客さんもあるそうだ。

## 手元供養



▶自分らしく自由に供養する小さな祈りのステージ

お葬式が終わり、お墓に納骨される。というのが昔からの常識でしたが、お墓はあるが遠方のため、なかなかお参りにいけない。あとを見てくれる後継者がいない。などそれぞれの事情から合同墓地や散骨、樹木葬などを希望される方も増えるなど供養の方法も多様化しています。

最近、注目を集めている供養の一つで、大切な人をいつも身近に感じていたい。近くで見守ってほしい。そんな思いから生まれた「手元供養」。大切な方の唯一残る命のかげら「遺骨」をご兄弟やご家族で少量を分けて、手元に置いてたり、身につけてずっと一緒にいることで、大切な人を身近に感じ、語りかける対象ができることで心が落ちつきます。従来の形にとらわれず自分らしい供養のスタイルとして認められてきていると感じます。

各公益会館でのイベントでも手元供養のご紹介コーナーを設けておりますのでぜひお越しください。(吉田良子)



▶大切な人の遺骨をほんの少し納めていつも一緒に…

伝統

淡海の老舗

漬物・醤油を製造販売する株式会社マルマタは、江戸時代の創業以来187年の歴史を持つ老舗だ。文政11年に三代目辰巳又四郎が愛荘町の中山道沿いで醤油醸造業を営んだのが始まりだ。昭和19年に国からの要請で味噌の製造を開始。昭和35年には、その年豊作だった茄子を買い取り、漬物第一号となる「茄子のすがた漬」を発売。以後、近江ならではの漬物を数多く生み出してきた。

# アイリス広場

Q & A

- Q** 戒名など無しではお墓に入れてもらえないものか。(犬上郡：男性)
- A** 現在のお墓を寺院が管理をされている場合は、ご住職にご相談いただく方がよろしいかと思えます。宗旨宗派を問わず納骨や永代供養が可能な寺院もありますし、一定の条件(過去帳記載や法名(戒名)を付けてからの納骨)を定めて運営されている寺院など様々です。霊園や共同墓地など宗旨宗派等問わない場合もあります。
- Q** 「相続」に関する法律相談もしてもらえるのか。(東近江市：男性)
- A** 詳しいご相談は、司法書士の先生をご紹介させていただきます。公益社まで遠慮なくお尋ねください。
- Q** 前号 Vol.60 の表紙の写真の場所が知りたい。(東近江市：女性)
- A** 走落神社(はせおちじんじゃ・はしりおちじんじゃ) / 長浜市高槻町馬上1181 / 2月上旬の風景です。

## FLOWER GARDEN IRIS から

気の早い春の花たちが顔を出すこの頃。お庭も春色に植え替えはいかがですか? 植え替えと言えば、前回の「秋の花まつり」



で出逢った、お近くのJ様より「お店の周りに お花を」とご相談を頂きました。そこで、季節ごとのお花の植え替えをご提案。

まずは整地から。石を丁寧に取り除き、土を入れ替え、秋から春まで楽しんで頂けるビオラを植えました。「道ゆく人たちにも楽しんで頂いています」と嬉しいお声を頂きました。このようなご依頼も承ります。お気軽にご相談ください。

## 春の花まつり

3月17日(金)~20日(祝・月)

今回は新しい企画も盛りだくさん!  
19日(日)には、1日限定で マルシェもOPEN!! 素敵なお店が並びます。  
ぜひ遊びに来てくださいネ♪  
\*詳しくは同封のチラシにて。



■ HIKONE 彦根市小泉町696番地 tel.0749-26-8783 fax.0749-26-4141

■ TAGA 犬上郡多賀町多賀1479番地 tel.0749-48-2333 fax.0749-48-2555

公益社は、24時間365日いつでも対応いたします

株式会社 公益社 本社：〒522-0054 滋賀県彦根市西今町939番地 TEL.0749(22)5000 FAX.0749(22)0042

## みなさまのおたよりから

- Q** 郵送していただく「宛名ラベル」をもう少しはがしやすいものにしていただけるとありがたい。(東近江市：男性)
- ーご指摘ありがとうございます。廃棄する時のゴミの分別や個人情報情報の点からも検討いたします。
- Q** 社内の記事が多すぎるのでもう少し滋賀県全般の記事を取り上げて欲しい。(近江八幡市：男性)
- Q** 滋賀県の祭事、お寺等まだまだ知らない事も多いので連載で紹介して欲しい。(近江八幡市：男性)
- ー地域の様々な情報を厳選し工夫して皆さまにお伝えしてまいりたいと思います。ご意見ありがとうございます。
- Q** 彦根の宗安寺が朝鮮親善大使の宿泊所であったことを知っていますか。また取り上げてください。(彦根市：男性)
- ーニッポン再発見の記事をお願いしている雲行さんと相談し、取り上げることができるよう計画をさせていただきます。雲行さんの話ですと彦根城の固有種「オトックリイチゴ」も、朝鮮通信使が関係しているのだとか。宗安寺からいろいろ話が広がりそうです。ご提案ありがとうございます。

## ご愛読者プレゼント

会員のみなさまに日頃の感謝の気持ちを込めて



「淡海の老舗」でご紹介 マルマタ様

味ごよみ  
近江漬物フレッシュパック詰め合せ  
応募締切  
平成29年3月20日(月) 必着

\*写真はイメージです

抽選で  
20  
名様に

- 同封の応募ハガキのアンケートにお答えのうえ、必要事項を記入しご応募ください。
- 当選された方にはプレゼントお渡し日をご連絡させていただくと共に、次号にて発表させていただきます。

vol.60 大津屋本多酒店様 純米酒「多賀秋の詩」ご当選者  
彦根市：富田美代子様・林愛子様・井藤敏典様・粟林慶子様・夏原透様 多賀町：大岡一夫様  
東近江市：矢田文司様・日永京子様・野々村信夫様 近江八幡市：岡田和子様

vol.60 迎春寄せ植えご当選者  
彦根市：山中好史男様・菖蒲池佳代子様・藤田安雄様・片山明子様・西野貞行様  
多賀町：藤本俊子様 東近江市：中村道子様・植木英明様 近江八幡市：吉岡勝司様

## アイリスクラブ 新規会員ご紹介キャンペーン

「アイリスクラブ」をご紹介ください。新規会員になってくださった場合、ご入会いただいた方、ご紹介いただいた方それぞれに、JCBギフト券をプレゼントさせていただきます!

JCBギフト券  
プレゼント!!

ご入会者様に! ご紹介者様に!

アイリスクラブ  
入会  
ゴールド会員 3,000 円の  
JCBギフト券

アイリスクラブ  
入会  
シルバー会員 1,000 円の  
JCBギフト券

ご連絡先  
アイリスクラブ事務局  
TEL0120-333-838

ご葬儀のご相談・ご依頼・資料のご請求は  
☎ 0120-61-4000